NIE実践報告

1．タイトル：☆グループ単位で意見交換しよう

2．学校名

静岡県磐田市立豊田南中学校

3．実践者名（代表者名）

永田　陽一

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科･公民　35人

6．単元（本時の学習課題）名

18歳成人に賛成か､反対か

7．目標(狙い)

18歳成人の賛否についての自分の考え方とその理由を報告書に記入し､グループの中で発表するとともに､友人と意見交換し､グループとしての結論をまとめることができる。

8．評価の視点

18歳成人の賛否についての自分の考え方とその理由を､少年事件の厳罰化､若年層の政治参加､諸外国の現状､飲酒喫煙の是非､時代の変化等､さまざまな角度から考えようとしたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「国の政治のしくみ」(教科書教材:東京書籍)(社会　10時間)の最後の1時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

＜本時の学習時間＞
(1)新聞記事を読み､「18歳成人」の議論についてわかったことをワークシートに記入する。
(2)新聞記事を参考にして､18歳成人の賛否についての考えとその理由を報告書に記入する。
(3)グループごとに意見交換し､結論をまとめ発表用ボードに記入する。
(4)18歳成人の賛否についての考えとその理由を発表する。

＜留意点＞
　20歳以上の者が可能な権利行使について､知っていることを発表させ､18歳成人の賛否について､自分の将来の身近な問題として関心を高めさせたい。また､時間をかけて新聞資料を読み取り､感想や意見を記述し､グループの中で発表する場面を設定していきたい。
　小集団学習では､自分の考えを友人に伝え､意見交換し､グループとしての結論をまとめることを通して「伝え合う力」を養っていきたい。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

　活発な意見交換ができた。これは､以下の3点が主な理由である。
･「18歳成人の賛否」というテーマが､身近な問題で話し合いに参加しやすかったこと。
･話し合ってグループとしての結論を導き出すように指示したこと。

12．成果と課題

　友人と意見交換し､話し合い活動を活発にするためには､テーマ設定によるところが大きい。資料を精選し､今後も､意見発表や討議を行う授業を実践していきたい。
　資料については､新聞の社説や投書欄､特集記事などを参考にしながら､世界や社会の動きを読み取る力を高めるとともに､自分の将来の身近な問題として関心を持たせ､公民的資質を養って生きたい。
　また､資料を十分に読み取る時間が必要であることから､1時間完結の授業にこだわらず､1つのテーマに数時間をかけることで、話し合いに深まりをもたせたい。